

富士箱根伊豆国立公園「田貫湖富岳テラス」整備概要

環境省では観光立国推進閣僚会議による政策パッケージ及び富士箱根伊豆国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラムに基づき、インバウンドの本格的な回復に向け、国立公園の魅力を楽しめる空間を創造するため、富士箱根伊豆国立公園内の富士宮市田貫湖畔において「田貫湖富岳テラス」を整備した。

■施設概要

名称：田貫湖富岳テラス
 場所：静岡県富士宮市佐折地内
 構造：鉄骨造
 床板：富士ヒノキ
 面積：約350㎡（芝生部分含む）

■事業費

令和4～5年度：基本・実施設計業務 1,500万円
 令和5年度：工事、監督支援業務 2億5,500万円

計 2億7,000万円



■コンセプト

- ・地形に沿った傾斜のある形状は、**湖面との一体感**を高め、自然の中にいるような空間を演出。
- ・テラスの床板に**富士ヒノキ**を使用し、**空間の上質化**を実現するとともに地産地消に貢献。
- ・鋼製の手摺りを採用し、眺望の支障となる人工物を極力排除することで、**壮大な景観**を臨むことが可能。
- ・「静岡県福祉のまちづくり条例」に準じた園路勾配（8%以下）や、手摺りに設置した点字標示板など、**ユニバーサルデザインを考慮**した園路設計。
- ・テラスの高さを約30cm下げ、角度を4°変更し、**富士山と逆さ富士との最適なバランス**を調整。
- ・点灯時間や照度を調整できる照明を設置し、**安全かつ快適**に星空やホタルなどを鑑賞することが可能。
- ・雑木が繁茂した空白地を芝生地に変更し、**開放感のあるテラス**を実現。
- ・樹木の移植や修景伐採を行い、**明るく快適な歩行空間**を確保。
- ・テラスや園路で使用する電気は、**太陽光発電による自然エネルギー**を活用。
- ・キッチンカーの出店可能なスペースを確保し、飲食による**満足度の向上、滞在時間の延長**が可能。

